

本市は、令和元年(2019年)7月に「SDGs未来都市」に県内で初めて選定されました。「その先の笑顔のため、いまできること」編では、本市でSDGsの達成に向け積極的に取り組んでいる人・団体、関連イベントなどを紹介しています。

あなたもぜひSDGsに取り組んでみませんか？

「陸前高田市×法政大学 SDGsワークショップ2023」

令和5年8月3日(木)から令和6年3月14日(木)にかけて、本市と法政大学による「SDGsワークショップ」を実施しました。本市と法政大学は、令和元年に「SDGs推進連携協定」を締結し、令和2年度から、市内事業者と学生達によるワークショップを通じて、地域課題の解決に取り組んでいます。令和5年度は、12人の学生が3チームに分かれ、現地でのフィールドワークや事業者との意見交換を重ねながら、地域課題の解決に向けたアイデアを出し合いました。



現地フィールドワークの様子  
8/30(水)・31(木)



3月14日(木)にオンラインで実施した最終報告会では、佐々木市長や法政大学の廣瀬総長の出席のもと、学生達が本市の課題解決に向けた取り組みを発表しました。



トナリノチーム

防災ワークショップの実施と震災伝承について

『防災を「難しい」から「楽しい」へ』をテーマに、手軽にそして役に立つ防災グッズの作成と「震災を経験していない世代の語り部の育成」についても提案を行いました。本市の防災に対する課題を大学生ならではの視点で見つけ、その解決法をプレゼンしました。

高田暮舎Bチーム

空き家の新しい利活用法について

本市に点在している空き家を職業体験施設や押し入れ農園のような形で若者に利活用してもらうという提案を行いました。空き家への居住という考えにとどまらない新たな視点での提案で、話題性と集客力を組み合わせた斬新な取り組みをプレゼンしました。

高田暮舎Aチーム

「灯籠制作でまちと地域社会を明るく」

気仙大工の技と気仙杉を活かした灯籠を作り、灯籠の明かりで夜の市街地をもっと明るくしたいという提案を行いました。本市の資源と本市が誇る技術を組み合わせた街の活性化とブランド力の向上に関する取り組みをプレゼンしました。

参加した学生の感想

- ★事業者の仕事への熱意や陸前高田市への愛情を感じ、「こんな風に働ける大人になりたい」と感じました。
- ★陸前高田市の実情を聞いただけでなく、地域は違って色々な人と繋がり、親睦を深めることができました。参加して本当によかったです！

宝くじの社会貢献広報事業

国際交流事業を実施しました



市では、コミュニティ助成事業を活用し、NPO法人SETを実施主体とする、デンマーク、メキシコ、ポーランドからの受け入れプログラムを実施しました。受け入れプログラムでは、地域住民との交流や文化理解のワークショップなどを通じて、それぞれの国の文化に触れ、相互理解を深めることができました。

今後も、海外からの新たな視点やアイデアを取り入れながら、地域の魅力や文化を国際的に発信することで地域の異文化理解を推進していきます。



コミュニティ助成事業とは

宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施している事業です。コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進および活力ある地域づくりなどに対して助成が行われています。

問い合わせ先 市役所観光交流課定住交流係(内線412)

気仙川・矢作川流域の皆さんへ

気仙川一斉清掃にご協力ください



市では、春の気仙川一斉清掃を行います。事前の参加報告は不要ですので、事業者や住民の皆さんのご協力をお願いします。

- ◆日時…4月21日(日)午前6時～7時(小雨決行)
- ◆実施区域…矢作町、横田町、竹駒町、気仙町今泉地区の気仙川本流・支流
- ◆その他

- ①市指定ごみ袋など透明なごみ袋を各自ご準備ください。
- ②荒天などにより中止する場合、前日の午前11時を目途に防災行政無線で連絡します。
- ③回収されたごみは、市の委託業者が収集しますので、可燃物と不燃物に分けて集積所にまとめて置いてください。集積所の場所については、事前に確認をお願いします。
- ④活動にあたっては、危険な場所を避け、参加者の安全第一をお願いします。



気仙川一斉清掃の様子

問い合わせ先 気仙川清流化推進協議会事務局(市役所まちづくり推進課生活環境係)(内線126・127)